

# 農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 44 —



令和3年7月

編集・発行／

白子町農業委員会

『町の頑張る農業担い手集団』を皆さんに紹介します。

## 農業士を通じて得た知識と仲間は貴重な財産に

千葉県農業士協会長生支部

農業士は、地域農業の振興を目指して、新たに農業を始めた人や青年農業者へのアドバイスや支援活動を行っています。また、農業士の研鑽や相互の交流を図るため、各種研修会を開催し、さらなる資質向上を図るなど、地域の農業振興に向け積極的に活動をしています。

千葉県では現在336名の方が認定され、長生郡市では12名（うち白子町6名）の方が認定されており、自身の経営発展だけでなく地域農業のけん引役として活躍いただいています。



町内の農業士を代表して、齊藤 晴満さん（左写真）に話を伺いました。

「平成20年に農業士に認証され、13年目になるけど、その間、先進地への視察研修や会員相互の情報交換会など農業士の活動を通して様々なことを勉強させてもらいました。自分は水稻とトマトを栽培しているけど、長生地区のメンバーは、野菜・水稻・果樹・花き・酪農と多様なので、自分が栽培する農作物だけでなく、異なる作物の知識見分を広められたこと、また、多くの仲間たちと交流を深められたことは貴重な財産だと思っています。

昨年以降は残念ながら、コロナ禍で多くの活動が自粛され中止や延期になってしまいましたが、コロナの収束後には、また新たな仲間が加わり共に活動出来たら嬉しいですね。」と笑顔で語ってくれました。

### ○白子町の農業士【6名】

- 齊 藤 晴 満（ 牛込中 ）
- 三 橋 克 治（ 牛込中 ）
- 石和田 喜 明（ 幸治西 ）
- 細 谷 啓 子（ 幸治西 ）
- 篠 崎 正 義（ 中里中 ）
- 河 野 庄 一（ 中里中 ）



新規就農者（左）にトマト栽培を指導する農業士の石和田さん（右）

○ 農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は、平成14年より大きく変わりました。これまでの経営移譲を想定した制度に変わり、新しい農業の担い手の力となれるよう、ライフプランに合わせて設定できる自由度の高い制度となっています。

